

# ミラクファンド® KC-1000

アクリルカチオン系

## 特 長

ミラクファンドKC-1000は、特殊アクリルカチオン系樹脂エマルジョンを採用した製品で、下地調整と仲介接着の役割を兼ね備え、さらに中性化防止をも加味した万能の性能を有しています。今まで不向きとされていた旧塗膜の残った壁面の改装、あるいはコンクリート構造物などに適用できる高性能セメント系下地調整塗材です。

1. 特殊アクリルカチオン系樹脂エマルジョンを採用しているため、各種下地に対する密着性が非常に優れていると共に、耐ひび割れ性、耐衝撃性などの性能が従来に比べて特に優れています。
2. 硬化後強固な被膜を形成し、仕上塗材の防水性を向上させます。
3. 脆弱な下地を均一に強化し、また仕上塗材の色むら、密着不良、造膜不良などの原因を予め防止できます。
4. 特殊アクリルカチオン系樹脂エマルジョンとセメントの複合効果でコンクリート躯体の中性化防止、鉄筋の防錆性に優れた効果を発揮します。
5. 特殊アクリルカチオン系樹脂エマルジョンの使用により、下地調整のみならず仲介接着としての機能を発揮します。
6. 施工が簡単で、刷毛塗り、ローラー塗り、スプレー塗りなど状況に応じ、各種の方法で能率よく作業を行います。

## 用 途

- ① コンクリート構造物の中性化防止
- ② 露出鉄筋部の補修・防錆下地調整
- ③ 改装面の下地補修・下地調整
- ④ 各種建材の下地調整

## 荷 姿

ミラクファンドKC-1000粉 体 20kg 袋  
ミラクファンドKC-1000混和液 5kg ポリ容器(16~31㎡/セット)

## 危険情報と安全対策

ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読み下さい。また、MSDS(製品安全データシート)もご参照下さい。  
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行って下さい。

## 標準施工仕様

(20℃、65%RH)

材 料		調合 (重量比)	所要量 (kg/㎡)	塗回数	間隔時間(hr)		備 考
					工程内	工程間	
ミラクファンドKC-1000粉 体		100	0.80~1.5	1~2	6以上	16以上	—
ミラクファンドKC-1000混和液		25					
清 水	刷毛塗り ローラー塗り	25~35	—	1~2	6以上	16以上	左官刷毛 ウールローラー
	スプレー塗り	30~35					リシンガン 口径4~5mm 圧力392~588kPa(4~6kgf/cm <sup>2</sup> )

■ 可使時間：夏期1.5時間、冬期3時間

注) スプレー塗りは吹付後、左官刷毛でしごいて下さい。

## 性能試験成績表

JIS A 6916 建築用下地調整塗材 下地調整塗材C-1による物性結果

試験項目	結 果	規 定	
軟 度 変 化	-1.7	±20%以下	
耐 ひ び 割 れ 性	合 格	ひび割れがないこと。	
耐 衝 撃 性	合 格	ひび割れ及びはがれがないこと。	
付 着 強 さ	標 準 養 生	1.2	0.7N/㎡以上
	低 温 養 生	0.9	0.5N/㎡以上
吸 水 量	0.1	2g以下	
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性	【表面状態】合格 【付着強さ】0.8	割れ、膨れ及びはがれがなく、付着強さが0.7N/㎡以上であること。	

## 各種下地との 付着強さ

下地の種類	付着強さ	試験方法
セメントモルタル	1.2N/mm <sup>2</sup>	各種下地に塗付、JIS A 6916 7.13 付着強さ試験にて測定
スレート板	1.2N/mm <sup>2</sup> *	
ALCパネル	0.5N/mm <sup>2</sup> *	
PC部材	1.2N/mm <sup>2</sup>	
外装薄塗材E	1.1N/mm <sup>2</sup>	
複層塗材E (アクリル樹脂エナメル仕上げ)	1.2N/mm <sup>2</sup>	
複層塗材E (ポリウレタン樹脂エナメル仕上げ)	1.2N/mm <sup>2</sup>	
合成樹脂エマルジョンペイント	0.9N/mm <sup>2</sup>	

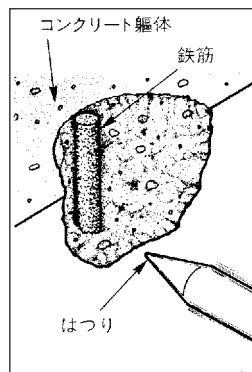
(\*基材内破断)

## 各種仕上塗材 塗付後の 付着強さ

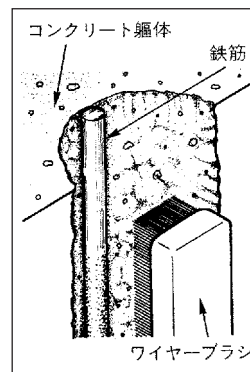
仕上塗材の種類	付着強さ	試験方法
外装薄塗材E	1.2N/mm <sup>2</sup>	モルタル下地に塗付後、23℃、5%RH24時間養生。 仕上塗材塗付後、20℃、65%RH14日間養生 JIS A 6909 7.9 付着強さ試験にて測定
可とう形薄塗材E	1.1N/mm <sup>2</sup>	
複層塗材E	1.0N/mm <sup>2</sup>	
防水形複層塗材E	1.1N/mm <sup>2</sup>	

(すべて仕上塗材内破断)

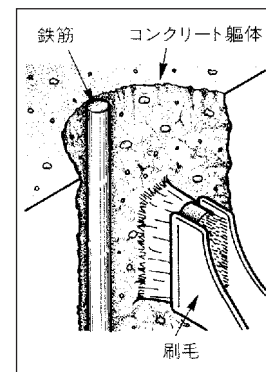
## 鉄筋腐食部の 補修方法



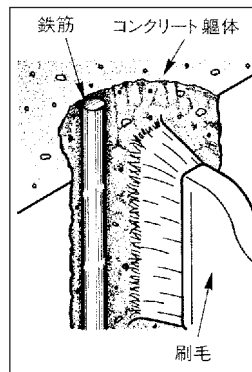
① 脆弱部の除去



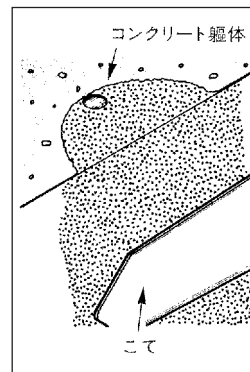
② 鉄筋部の除錆



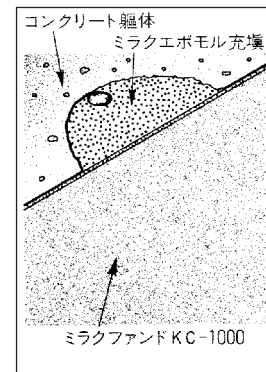
③ ミラク防锈#50処理



④ ミラクシーラー-EPO塗付



⑤ エポキシ樹脂モルタル  
(ミラクエポモル)充填



⑥ ミラクファンド  
KC-1000 塗付

■防錆処理後、ミラクシーラー-EPOでこれを保護することにより、中性化防止を一段と効果的に行うことができます。鉄筋腐食周辺にアルカリ付与剤などが用いられている場合、直接施工すると密着不良の原因となりますので、シーラーを塗付するなどの処理が必要です。詳しくはもよりの各営業所にお問い合わせ下さい。